

地方創生交付金事業 H30実績及びR1実施事業について

広域連携事業 茨城県 土浦市 石岡市 潮来市 稲敷市 かすみがうら市 阿見町 鹿嶋市・桜川市・行方市

サイクリングと当地域の多様な地域資源を結びつけることで、東京圏を中心に国内外から多くのサイクリストを含む観光客の誘客を図るとともに、訪れた方の地域での消費を促進する仕組みを構築することで、活力の維持と活性化した稼ぐ地域づくりを目指すもの。

◇当市の事業内容

（１）広域レンタサイクル事業【継続】

広域レンタサイクル事業実行委員会負担金 つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会負担金

（２）地域ポイント制度運用事業【継続】

観光イベントやレンタサイクル利用者等に対しポイントを付与するなど、地域内店舗の利用促進につなげ「稼ぐ地域づくり」に寄与するもの。

平成30年度実績

サイクリングイベント事業

ライドハンターズ レイクサイドサイクルフェス レンタサイクル

ライドクエスト「古墳エクスペリエンス」 ライドクエスト「旬の実り 食育キッチン」

ポイント取得者：394名 付与数：282,500ポイント

ポイント利用率：48.5%（※その他付与ポイント利用実績含む）

(3) 地域ポイントと連動したサイクル事業

1) 地域資源を活用した体験型プログラムイベント

本市の地域の伝統や文化、自然や歴史的景観、食をはじめとした様々な地域資源を活かした着地型観光の更なる充実を目指すこととして、現代人が求める「健康」「癒し」等をコンセプトに、サイクリングと組み合わせた体験型プログラムを企画構築しモニターツアーとして開催。地域資源を活用したプログラムとして確立し、交流人口の拡大と稼げる地域づくりを目指すもの。



ライドクエスト「古墳エクスペリエンス」 2018.10.21



ライドクエスト「旬の実り 食育キッチン」 2018.11.4



2) レイクサイドサイクルイベント

本市の地形・地域資源等を活用した市内回遊型サイクリングイベントや会場設営型キッズイベント、体験型コンテンツを通じ、本市の観光PR・観光誘客の促進を図る



キッズ向けサイクルイベント 参加者84名



2018.10.13



市内を巡るサイクルイベント 参加者51組142名

3) 地域内散策ルート開発

【魅力あるサイクリングエリアの構築】

- サイクリングルートの構築
- 構築したルートのプロモーション
 - ①ウェブサービス専用ページ等の作成と掲載・運営
 - ②SNSの活用
 - ③イベントPR
- 構築ルート（エリア）利用実態調査
 - ①ルート構築による効果分析
 - ②効果分析による検証・提言

構築したルートをサイクリングMAPサービス「ツールズ」に掲載した



構築ルートをサイクリングアプリで紹介

ツールズを利用して「かすいちmini」コースの走行を申し込



アプリを使い、市内を巡るミニイベントを開催 参加者92名

○構築ルートの現地取材を通じ、情報誌を作成【一部抜粋】



H30 地方創生推進交付金活用事業

【水郷筑波・サイクリングによるまちづくりプロジェクト】計画期間H28～R2年度

☆重要業績評価指標(K P I)

- ①つくば霞ヶ浦りんりんロード自転車利用者数
- ②広域レンタサイクル利用者数
- ③つくば霞ヶ浦りんりんロード自転車利用者消費金額

	事業 開始前	2016	2017	2018	2019	2020	KPI増加分の累計
KPI①	39,000人/年	6,400	6,400	17,347	15,427	15,426	61,000人
実績		8,460	7,540	26,000			42,000人
KPI②	155人/年	645	800	3,200	1,400	2,300	8,345人
実績		589	899	4,405			5,893人
KPI③	31,200千円	18,740	22,580	65,774	115,428	46,278	268,800千円
実績		30,498	15,302	118,225			164,025千円

H30【筑波山・霞ヶ浦広域エリア観光連携促進事業】計画期間H30～R2年度

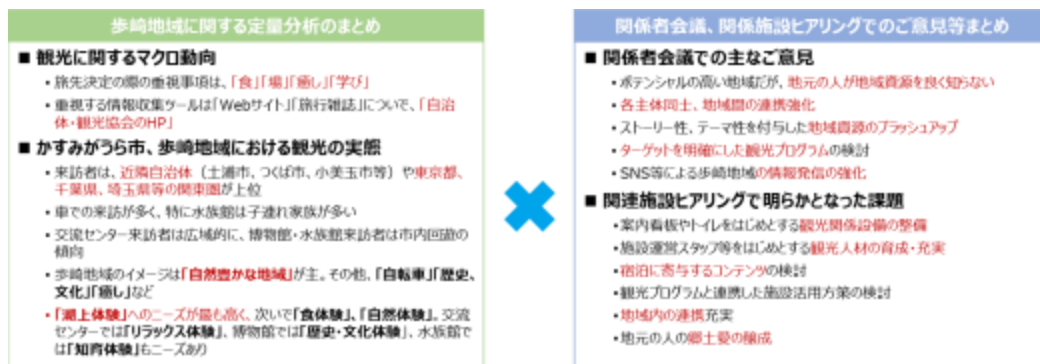
広域連携事業 茨城県 石岡市 潮来市 筑西市 かすみがうら市 桜川市

「筑波山」及び「霞ヶ浦」の広域エリアへの誘客を契機に、県全域への周遊観光に繋げ、宿泊を含む県内全体の観光入込を増加させ、全県的な交流人口の拡大や観光をはじめとする関連産業の振興・雇用創出、地域の活性化に繋げていくもの。

◇当市の事業内容

（１）歩崎地域観光振興アクションプラン策定

歩崎地域の観光資源（自然環境、歴史遺産、農水産物、スポーツ環境、公共施設等）を効果的に組み合わせ、磨き上げ、魅力をアピールすることで、一年を通じて市内外から大勢の人が訪れ、地域に賑わいと経済的な活力がもたらされることを目指し、具体的な観光振興プランをとりまとめるもの



アンケート調査等による定量的なデータと関係者会議の意見を踏まえ、6つの取組み方向性を検討

これらの課題を解決すべく、
短期【概ね1年以内に実施を目指すもの】
中期【概ね2～3年以内に実施を目指すもの】
長期【実施に3年以上を要するもの】
に分け取組み内容を整理



（２）地産外商推進事業

本市がより外貨を稼ぐ地域づくりを目指すために、地域商社機能を担う存在が、地産品の新商品開発や市で認定した「湖山の宝」推奨品を域外へ外商する仕組みづくりを行い、当市経済の更なる発展につなげていく取組み。

下記の取組みのほか、WEBサイト広告によるPR、ECサイトの構築を行う。

商品概要  かすみがうらでは、夏はブルーベリー、秋は梨・ぶどう・柿、冬にいちごが収穫される。 生の状態でも甘くて美味しいフルーツを、手軽に楽しんでもいただけるようフルーツ酢に加工。 フルーツそのものの味で、すっきりと甘く仕上げた。	使い方  価格 1本800円程度	●ソーダと割ってジュースとして ●ヨーグルトにかけてデザートに ●オリーブオイルと混ぜてヘルシーなドレッシングに ●お水と混ぜてフルーツビネガーウォーターに
--	--	--

新商品開発の一例（フルーツビネガー）



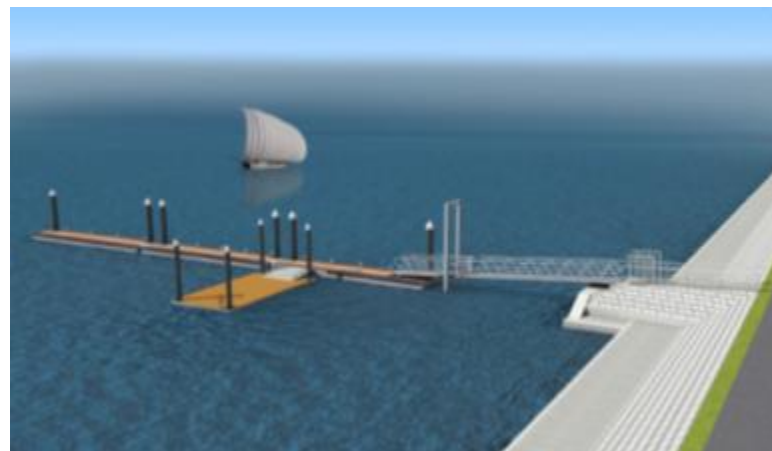
販売促進ツール制作の一例



（３）歩崎公園湖岸棧橋設置

交流センター前湖岸に、土浦駅サイクリング拠点施設や対岸地区等と連携したサイクルーズ（舟運による輪行）事業や、カヌー・ボートなど水辺を活用したスポーツアクティビティ、帆引き船漁・トロール漁の見学体験など、様々な体験型プログラムとして活用できる棧橋を設置。地域の事業者と連携し、「稼げる地域づくり」を目指していく。

※2018年度設計 2019年度施工



多目的棧橋 イメージ図

H30【筑波山・霞ヶ浦広域エリア観光連携促進事業】計画期間H30～R2年度

☆重要業績評価指標(K P I)

①筑波山・霞ヶ浦に隣接する12市町村※の観光入込客数

②筑波山・霞ヶ浦に隣接する12市町村※の観光消費額

※土浦市・石岡市・つくば市・潮来市・筑西市・稲敷市・かすみがうら市・桜川市・行方市・小美玉市
美浦村・阿見町

	事業 開始前	2018	2019	2020	KPI増加分の累計
KPI①	1,710万人/年	58	60	62	180万人
実績		27			
KPI②	760億円/年	30	31	31	92億円
実績		-21			

H30【第2のふるさと・茨城プロジェクト推進事業】計画期間H28～H30年度

広域連携事業 茨城県 日立市 石岡市 結城市 高萩市 北茨城市 笠間市 鹿嶋市 潮来市 那珂市 坂東市
つくばみらい市 茨城町 城里町 大子町 境町 利根町
【H30新規】 土浦市 常総市 牛久市 常陸大宮市 筑西市 神栖市 行方市 鉾田市 八千代町 かすみがうら市

東京圏からの移住はもとより、週末居住といった二地域居住などを推進することで人口の自然減により生じる社会経済等の縮小を食い止めるとともに、交流をきっかけに移住へとつなぎ、本県の活力を維持・向上させるもの。

◇市の事業内容

（１）移住体験ツアー事業

東京およびその近郊に在住・在勤の「田舎暮らし」志向の若年層を対象に、かすみがうら市への移住、そして移住後の暮らしをイメージできる移住定住促進体験ツアーを企画・実施する。参加者については、本市の特色ある業種、福祉の仕事(保育士・介護職など)に関心のある方を募り、マッチングを目指す。

1日目

2019.2.5～6 参加者12名



2日目



H30【第2のふるさと・茨城プロジェクト推進事業】計画期間H28～H30年度

☆事業終了時における重要業績評価指標(K P I)

- ①ふるさと県民登録者(累計)
- ②移住受入れ体制の構築に取り組む市町村
- ③トライアル移住(社員移住) 実施企業数(累計)

	事業 開始前	H28	H29	H30	KPI増加分の累計
KPI①	2,126	1,374	750	750	2,874人
①実績		1,429	843	302	2,594人
KPI②	25	0	8	3	11市町村
②実績		5	5	1	11市町村
KPI③	0	0	7	8	15社
③実績		0	9	6	15社

R1 【水郷筑波・サイクリングによるまちづくりプロジェクト】計画期間H28～R2年度

広域連携事業 茨城県 土浦市 石岡市 潮来市 稲敷市 かすみがうら市 阿見町 鹿嶋市・桜川市・行方市

サイクリングと当地域の多様な地域資源を結びつけることで、東京圏を中心に国内外から多くのサイクリストを含む観光客の誘客を図るとともに、訪れた方の地域での消費を促進する仕組みを構築することで、活力の維持と活性化した稼ぐ地域づくりを目指すもの。

◇当市の事業内容

(1) 広域レンタサイクル事業【継続】

広域レンタサイクル事業実行委員会負担金 つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会負担金

(2) 地域ポイント制度事業【継続】

観光イベントやレンタサイクル利用者等に対しポイントを付与するなど、地域内店舗の利用促進につなげ「稼ぐ地域づくり」に寄与する。

(3) 地域ポイントと連動したサイクル事業【継続】

域外からの交流人口の拡大とサイクリング拠点としての認知度向上を図るため、平成30年度に実施したサイクルイベントをブラッシュアップさせ、地域ポイント制度と連動し交流人口の拡大と稼ぐ地域づくりを目的とした事業として実施。

○ライドハンターズ（宝さがし感覚で市内を自転車でポタリング）

○ちびっこストライダー

(4) 自転車環境魅力共創事業【新規】

ポイント制度と連動しつつサイクリングロードを活用した取組みとして、ターゲットの選定や認知度・集客の拡大につなげるため、霞ヶ浦一周など、サイクリングロードのブランドストーリーを構築。

○サイクリングアプリを活用したプロモーション

○利用促進に向けたキャンペーン



R1【筑波山・霞ヶ浦広域エリア観光連携促進事業】計画期間H28～R2年度

広域連携事業 茨城県 石岡市 潮来市 筑西市 かすみがうら市 桜川市

「筑波山」及び「霞ヶ浦」の広域エリアへの誘客を契機に、県全域への周遊観光に繋げ、宿泊を含む県内全体の観光入込を増加させ、全県的な交流人口の拡大や観光をはじめとする関連産業の振興・雇用創出、地域の活性化に繋げていくもの。

◇当市の事業内容

（１）歩崎地域観光振興アクションプランプロモーション事業【継続】

平成30年度に地域関係者を交え検討・構築したアクションプランを踏まえ、ターゲットを明確化したプログラムを実践する。事業の本格化に伴い、集客を目的としたプロモーションを行い、観光入込客数の拡大と域内の観光消費額の増加を目指す。



（２）観光情報拠点サイネージ導入及び観光アプリ構築事業【新規】

筑波山・霞ヶ浦地域をはじめ、県内観光情報を発信するタッチパネル型サイネージの導入及びシステム構築、アプリとの連動による各地への案内など、市交流センターの観光情報の発信拠点としての役割強化を目指す。

（３）歩崎公園湖岸桟橋設置工事【継続 ※2018年度設計】

交流センター前湖岸に、土浦駅サイクリング拠点施設や対岸地区等と連携したサイクルーズ（舟運による輪行）事業や、カヌー・ボートなど水辺を活用したスポーツアクティビティ、帆引き船漁・トロール漁の見学体験など、様々な体験型プログラムとして活用できる桟橋を設置。地域の事業者と連携し、「稼げる地域づくり」を目指していく。

※市負担分については、企業版ふるさと納税を活用することとして市内外企業に募集中。

広域連携事業 本市のほか県内29自治体が実施

移住・起業・新規就業に係る支援の全体像

○過度な東京圏への一極集中の是正及び地方の担い手不足対策のため、地方創生推進交付金を活用したUIターンによる起業・就業者の創出等を図る。

	移住あり	移住なし
就業	移住を後押しするため、最大100万円支援 （国 50万円、都道府県 25万円、市町村 25万円） 支援移住者：①東京23区の在住者又は ②東京圏※¹（条件不利地域※²を除く）在住で東京23区への通勤者 就業先：地方公共団体がマッチング支援の対象※³とした中小企業等 転入地：東京圏※¹以外の道府県及び東京圏※¹内の条件不利地域※²	現在職に就いていない女性・高齢者等の 新規就業を支援する都道府県の事業を支援 支援事業：都道府県の実情に応じ、支援対象者の掘り起こし（対象者の発見、就労意欲の喚起）、中小企業等の職場環境改善支援、マッチング等の一連の取組を官民連携のプラットフォームを形成し一体的かつ包括的に実施する事業
起業	起業を後押しするため、最大200万円支援 （国 100万円、都道府県 100万円） 支援対象者：地域の課題に対して「社会性」「事業性」「必要性」の観点をもって取り組む社会的事業者 起業地：東京圏※¹以外の道府県及び東京圏※¹内の条件不利地域※² 「移住あり」かつ「起業」の場合は 最大300万円（国費150万円）支援	

※¹ 東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県。

※² 過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法、半島振興法及び小笠原諸島振興開発特別措置法において規定される条件不利地域を有する市町村（政令指定都市を除く）。

※³ 都道府県による移住希望者等と中小企業等のマッチングを支援する仕組みの構築を別途支援。

* 上記のスキームに加え、関係省庁と連携して以下の支援を実施。

- ・移住支援と連携し、移住者を採用した中小企業等に対し、その採用活動に要した経費の一部を助成【厚生労働省】
- ・移住支援と連携し、移住者が住宅の建設・購入を行う場合に、（独）住宅金融支援機構が提供する住宅ローンの金利の引下げ【国土交通省】
- ・起業支援と連携し、設備資金及び運転資金について、日本政策金融公庫の融資による支援【中小企業庁】

R1 【わくわく茨城生活実現事業】計画期間R1～R5年度（新規）

- ・移住支援事業（マッチング支援登録された民間事業者へ就業した者に移住支援金を交付
県内30市町村で実施）
- ・マッチング支援事業（マッチングサイト開設・運用、セミナー開催、プロモーション等：茨城県で実施）
- ・起業支援事業（企業支援者の公募及び審査を経て、起業者を採択：茨城県で実施）

☆重要業績評価指標(K P I)

- ①移住支援事業に基づく移住就業者数
- ②移住支援事業に基づく移住起業者数
- ③起業支援事業に基づく起業者数
- ④マッチングサイトに新たに掲載された求人数

	事業 開始前	2019	2020	2021	2022	2023	KPI増加分の累計
KPI①	0	78	78	78	78	78	468人
実績							人
KPI②	0	2	2	2	2	2	12人
実績							人
KPI③	0	5	5	5	5	5	30人
実績							人
KPI④	0	200	200	200	200	200	1200件
実績							

R1【古民家を活用した茨城ブランド力向上事業】計画期間H30～R2年度

広域連携事業 茨城県 かすみがうら市

貴重な資源である古民家について、地域振興拠点としての多様な活用方法を構築し、県内のサイクリング等の地域資源と連携させながら広域展開を図るとともに、新たな価値や人の流れを創出し、本県のイメージアップとブランド力の向上を図る。

○古民家活用方策の検討

茨城県：古民家活用合同研究会の運営

（新たな「古民家改修モデルケース」の検討・設定等）

古民家セミナーの開催

かすみがうら市：古民家の改修

改修について

- 本取組みについては、茨城県のモデル改修事業の第1号物件として実施。
- 地域に密接した地域活性化に資する施設としての活用を目指すことから、改修にあたっては地域住民等の参画によるワークショップなど、ソフト事業を盛り込んだ委託事業として改修を予定。
- 委託期間 R1.10～R2.3
- 業務内容 古民家改修に関する企画・立案
調査設計・監理
ワークショップ等運営
改修工事



訪れてみたい古民家が
たくさんある！

本県のイメージアップ・ブランド力の向上



地域のにぎわい創出，地域コミュニティの復活，誘客促進，雇用の創出，移住・定住の増加，空き家の減少，伝統技術の伝承等

R1【古民家を活用した茨城ブランド力向上事業】計画期間H30～R2年度

周辺地図



物件：S家住宅について

- 住宅敷地内には、母屋、瓦葺の門、土蔵のほか簡易郵便局の建屋が存在。
- 母屋は明治初期の建築（推定）。S家は地域の名家で、明治期には屋敷内で造り酒屋を営んでいた。
- 周辺徒歩圏には歩崎公園、かすみがうら市交流センター（かすみキッチン、かすみマルシェ）が営業、市水族館、歴史博物館など歩崎地域の中心に立地している。
- 「歩崎地域観光振興アクションプラン」では、集客のための仕組みづくりを進めていくにあたり、体験型観光と連動した市内の宿泊機能の充実を目標に掲げている。
- 2019年度末には歩崎公園の湖畔に多目的棧橋も整備され、ホワイトアイリスの発着、カヌー等湖上スポーツの拠点として活用されることから、今後多様な宿泊ニーズが見込まれる。

☆重要業績評価指標(KPI)

- ①モデルケースとして改修支援した古民家拠点施設への
宿泊者数 H30 0人 → R2 1000人
- ②古民家活用に係る「稼ぐ力向上」としての宿泊収入額
H30 なし → R2 5,200,000円
- ③古民家活用に係るセミナー及びフォーラム開催に係る
参加者 H30 なし → R2 500人
- ④モデルケースを踏まえて創出された古民家再生活用事例
H30 なし → R2 3件【R7 33件】